

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は9月です。

滑川高校生と議会報編集委員との懇談を行いました。

平成29年3月定例会では土曜議会を開催し、高校生の皆さんに傍聴に来ていただきました。

今回、滑川高校生が滑川市議会にどのようなイメージを持っているか、市議会に何を求めているか等について懇談する機会を設けていただきましたので、その内容について報告します。

◎市議会に求めること

島浦さん

議員

横田さん

坂東さん
島浦さん

通学路の街灯が増えたらいいなと思います。図書館や市民交流プラザの勉強スペースを利用するのですが、席を少し増やしたり、時間を延長するなどしてもう少し勉強できるようになればと思います。

サッカー部は第2グラウンドで練習しているのですが、グラウンドに照明がありません。また、柵も低いのでボールが飛んで行って迷惑をかけています。柵を高くするか、ネットを張ってもらいたいと思います。

奨学金について、例えば、将来、滑川市に戻ってくることで、返済の金額が少なくなったり、免除されたりという制度があれば、どうですか。確かに滑川市に帰ってきて返済金額が半分になるのであればうれしいと思います。

◎市議会、議員のイメージは？

島浦さん
議員

島浦さん

議員

野島さん
議員

野島さん

昨年秋に県議会を傍聴する機会があり、高校生から見たら難しいことを話していると思いました。市議会も難しいと思います。

市議会だよりを見たことはありませんか。

読んでみたことはありません。ただ、細部まで見ようと思うと力があると思います。

市議会は難しいと感じたと言われたが、市議会のイメージはどうですか。

正直なところ、何をしているのかわからないです。体育大会などの行事で議員さんの話を聞くことはありますが、毎日どのような仕事をしているのかはわかりません。

議員にどのようなイメージを持っていますか。

重要な話し合いや決定をしているのかなというイメージがあります。



議員

坂東さん

横田さん

島浦さん

野島さん
議員

一度は県外に出てみたいですか。(7名中4名が挙手)

滑川市は住みやすいと思います。魚津と富山に挟まれているので、大きなスーパーにもすぐ行ける。ただ洋食系の外食ができる場所が少ないと思います。

東京へ行く機会がありますが、新幹線の開通もあって、田舎と都会が身近になってすぐに行けるようになったし、人ごみも結構疲れるので、住むなら田舎で、たまに旅行や気分転換で行ければ良いと思います。

自分の夢のために県外へ出たい。けれどいずれは滑川に戻ってきた方が楽というか、夜も戸を開けて寝れば涼しい。

富山も滑川も好きで、将来、まちを活性化させるため、地域に密着した店をやってみたいと思っています。そこで、今ほどの地域もまちおこしを頑張っているのので、一度県外に出てみたいです。県外に住んでみて、滑川のよさを見つけることができれば、それを滑川のまちおこしにも生かせると思います。

とても良いことだと思います。

2年 朝野 京介さん
2年 入江 康太さん
3年 浦田 拓生さん
3年 野島 康平さん
3年 坂東 秀香さん
3年 島浦 友希さん
2年 横田 雅宗さん

貴重なご意見ありがとうございました。
今後もこのような機会を設けていきたい
と思います。

◆6月定例会

平成29年度一般会計補正予算(第1号) 滑川漁港周辺用地等購入費48,000千円を 減額修正し、賛成全員で可決

本 会 議

6月定例会

市議会6月定例会は、6月5日から20日までの16日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成29年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案18件、議員提出議案2件、議員派遣及び閉会中の継続審査の合計22件です。

審議の結果、市長提出議案の17件は原案どおり可決、承認または同意され、一般会計補正予算については、委員会修正案が可決、議員提出議案2件、議員派遣及び閉会中の継続審査につきましても原案どおり可決されました。

◇6月5日に本会議を開き、まず会期を20日までの16日間と決めた後に、平成29年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案9件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

◇12日、13日は代表質問及び一般質問が行われ、14名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。
◇最終日の20日には本会議を再開し、

本人申出による市長発言の取り消しについて決定した後、総務文教・民生環境・産業建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。分離採決の結果、議案第29号については、産業建設委員会の報告による修正案が賛成全員で可決、その他の8議案は一括して採択され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決、承認または同意されました。

その後市長から人事案件として9議案が提案され、監査委員の選任、農業委員会委員の任命について、いずれも賛成全員で同意としました。

続いて議員提出議案2件の提案理由説明の後、「受動喫煙防止対策の強化に関する意見書」について古沢議員より、より規制を強化すべきと

いう立場から反対討論があった後、採決を行い、いずれも可決されました。

最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、6月定例会を閉会といたしました。

滑川市監査委員

水野 勝行(中川原)

滑川市農業委員会委員

黒田 敏弘(魚躬)

石坂 武(中野島)

岩城 博志(横道)

守内 行壽(開)

奥野 暢子(赤浜)

新村 剛(沖田新)

早川 純子(田中町)

石坂 勇(中村)

永年勤続議員表彰

第93回全国市議会議長会が去る5月24日、東京国際フォーラムで開催され、永年勤続議員(15年)として、

中川 勲 議員

開田 晃江 議員

浦田 竹昭 議員

古沢 利之 議員

が表彰されました。

常任委員会での審査(主な質疑等) 各常任委員会への付託案件はP14をご覧ください。

総務文教委員会

付託された3議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。
☆平成29年度滑川市一般会計補正予算(第1号)について

●消防団に配備する防火服について、今回の分を含め、全部でどれだけになるのか、足りているのか。また、破損した装備について補充はしているのか。

●今回の分と合わせ全体で104セット、分団ごとには12セット配備した。本来であれば全員分の配備ができれば良いが、使用実態を考え、今の配備数となっている。今後も助成金を活用し、装備を充実させていきたい。破損分については、予算付けをしており、補充している。

●現在の学校図書館司書5名の配置状況はどのようなになっているか。

●滑川中学校に1名、寺家小学校と田中小学校で1名、早月中学校と東部小学校で1名、西部小学校と南部小学校で1名、北加積小学校と東加積小学校で1名となっている。

これに対して委員から「かねてから言っているとおり、2校での兼務ではなく、専任化に向けた道筋を付けるよう、検討して欲しい。」との意見が出されました。
☆屋内運動場建設事業費について

●現在の進捗状況はどのようなになっているか。

●詳細設計については今月中に完了する予定である。その後入札手続きをなるべく早期に進めたいと考えている。

●国の交付金内示額の減額を受け、規模の見直しについて検討したのか。

●規模の見直しに関して、具体的な計算は出してはならず、以前に説明した内容で設計を進めている。建築費用については、できるだけ抑えられるよう工夫をしており、これからも努力する。

なお、6月14日の上田市長の行田公園整備事業費に対する発言について、上田市長より、発言を一部削除したいとの申し出がありましたので、6月20日に総務文教委員会を開催し、発言の一部削除を許可いたしました。

民生環境委員会

付託された4議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定いたしました。

☆平成29年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について

●前期高齢者納付金が不足したため、繰越金を充てて支払うということでのい

●そのとおり、不足分について、繰越金の財源の中から充当して支払うことになる。

●繰越金の総額はどのくらいか。

●決算は精査中ではあるが、約9千万円程度になる。

☆滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

●条例改正による、国民健康保険税の所得による軽減について、2割、5割、7割それぞれの世帯数の変化の見通しはどうか。

●医療分と後期高齢者支援分について、2割軽減は8世帯の増、5割軽減は27世帯の増、7割軽減については影響はなく、介護分は10世帯増と試算している。

☆滑川市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

●地域包括支援センターで主任介護支援専門員に該当する方は何人か。

●現在2名いるが、平成27年度に資格を取得したため、平成32年度の更新となる。なお、更新のたびに46時間の研修を受けることとなっている。

産業建設委員会

慎重審査の結果、議案第29号を除く3議案については、賛成全員で原案のとおり

り可決または同意すべきものと決定いたしました。

議案第29号については、修正案が提出されました。修正案は、歳出 第7款

商工費 第1項 商工費のうち、6目深層水振興費の深層水利活用推進事業費の4千800万円と、それに対応する歳入4千800万円を削減するものであり、提案の理由としては、滑川蒲鉾(株)の取得に関しては、取得後の用途、目的等の計画がはっきりと示されておらず、これらの計画をしっかりと示したうえで再度議会に提出していただきたい。ということでした。

慎重審査を行なった結果、修正案及び議案第29号のうち修正案に対応する部分を除く部分については、賛成全員で可決すべきものと決定いたしました。よって、議案第29号については一部修正のうえ可決すべきものと決定いたしました。が、産業建設委員会として、次のとおり付帯決議をつけることといたしました。

付帯決議

『行田公園の用地取得後の整備に関しては、駐車場不足の実態を正しく判断をして、適切な整備計画を立てられたい。又、行田公園の拡張部分の整備もさることながら、既存の公園の管理及び整備を優先されたい。』

委員会開会后、まず、滑川蒲鉾(株)の取得について現地確認を行いました。その後、審査に入る前に行田公園整備にかかる上田市長の発言内容について確認を行い、市長から発言を取り消す旨の申出があったため、これを認め、審査に入りま

☆滑川蒲鉾の取得について

問 価格の交渉の経緯について明らかにしてほしい。

答 価格の算定には固定資産税評価額を用い、不動産鑑定の見解書を参考にすること、売買の面積については、登記面積で行うことについて提案し、市から提示した価格を了承していただいた。

問 6月に買わなければならないのか。

答 滑川蒲鉾が営業を終了し、早く清算をしたいと考えていること、市の活用の中でダイビングスポット等を早く整備するために取得をしたいと考えている。

問 建物の一部はかなり年数がたっているが、耐震についてはどうか。

答 鉄骨造の建物であり、耐震診断をする予定はない。

問 海洋深層水の研究という間口が広すぎる。滑川市で何を研究しようとしているのか。

答 水産、農業、食品に絞った形で進めたいと思っているが、研究の中心については控えさせていただきたい。

問 滑川蒲鉾の取得に関しては市民からも懸念の声が聞こえているが、これでは説明ができない。もっと時間をかければ良いのではないか。

答 非常にいい場所であり、この物件が他に渡ってしまうと市として非常に困るということもあり、提案をさせていただいた。

これに対して委員から「他の方に買っていたら、滑川市のために使っていたらいいのであれば、こんなにありがたいことはないのではないか。」という意見がありました。

答 海洋深層水をホテルイカと並ぶ観光資源として、東京大学の倉橋先生の新しい研究に対し、産学官で協力しながら研究していきたいと考えており、滑川蒲鉾は、研究の実証のための場所等として使いたいと考えている。

また、複数の委員から「滑川蒲鉾の取得費の積算の根拠について、明らかにしてほしい。」との質問があり、当局から積算の根拠が示されました。

☆行田公園整備事業費について

問 駐車場が足りないと言っているが、感覚的なものではなく、データを出してほしい。

答 駐車場が一杯で、そのまま帰ったという声がたくさん入っている。データについては児童館の職員が忙しく、調査は難しい。

答 過去から駐車場不足はずっと問題としてあった。職員には目で確認したり、写真を撮るなどして資料として持つよう指示を出している。

問 現在の行田公園の整備、管理についても十分考えて欲しい。

答 公園の管理については、手をかけて整備したほうが良いという意見と、自然そのまま手を加えないほうが良いという両方の意見がある。

日誌

29年5月

1日 総務文教委員会協議会
9日 議会運営委員会協議会
議会報編集委員会
定例議員協議会
議会改革検討特別委員会

10～12日 総務文教委員会行政視察
(三重県・長野県)

協議会

15日 議会報編集委員会
16日 富山県日台友好議員連盟
理事会、総会(富山県)

20日 日中国交回復45周年記念
「こやま日中友好の集い」
記念講演会(富山県)

22日 産業建設委員会協議会
総務文教委員会協議会
富山県選出国会議員との懇談会(東京都)

23日 富山県選出国会議員との懇談会(東京都)

24日 全国市議会議長会第93回
定期総会(東京都)

27日 東京滑川会総会(東京都)

29日 議会運営委員会
富山高山連絡道路整備促進
期成同盟会

富山外郭環状道路整備促進
期成同盟会合同総会
(富山県)

31日 定例議員協議会
議会改革検討特別委員会
協議会

5～6月 6月定例会
議会報編集委員会
議会改革検討特別委員会
協議会

20日 議会報編集委員会
21日 議会改革検討特別委員会
協議会

26日 富山県東部消防組合議会
議員協議会、全員協議会
本会議(魚津市)

7月 総務文教委員会協議会
上市町議会と滑川市議会との議員親善交流会
日中友好富山県地方議員連盟
理事会、総会、講演会
(富山県)

3日 総務文教委員会協議会
上市町議会と滑川市議会との議員親善交流会
日中友好富山県地方議員連盟
理事会、総会、講演会
(富山県)

4日 日中友好富山県地方議員連盟
理事会、総会、講演会
(富山県)

5日 議会改革検討特別委員会
協議会

8～9日 関西滑川会総会(大阪府)

10日 議会報編集委員会
議会運営委員会協議会
定例議員協議会

10～11日 観光問題・交通アクセス等
検討特別委員会協議会
行政視察(石川県・福井県)

13～14日 富山県東部消防組合
行政視察(東京都)

14日 議会報編集委員会
滑川中新川地区広域情報組合
行政視察(滋賀県・大阪府)

18～19日 滑川中新川地区広域情報組合
行政視察(滋賀県・大阪府)

20日 議会運営委員会
議会運営委員会・議会改革
検討特別委員会行政視察
(新潟県・長野県)

24日 全員協議会
第1回臨時会
25日 三市議会議員研修交流会
(魚津市)

一般表質問

6月定例会では14名の議員が質問を行い、48項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。ご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



(会派〓会派自民) 岩城 晶 巳 議員

- 1 学校教育について
- 2 市民ホールの早期建設について

Q 科学の時間の新設に伴う時間の割合が減らされたということで、中学1年生、数学で10時間減らす、理科を10時間減らす、技術家庭を5時間、総合を10時間、また2年生においても35時間減らす、3年生においても35時間減らして科学の時間にもっていく、滑川市だけこういうふうな授業にすれば、入試は県内一緒のことをやっている受験に差し支えないのか。

A 伊東教育長 科学の時間を実施しても、学習指導要領に示されている各教科の内容は全て履修することが前提であり、履修してつづけるべき力を指導し、つけることとしている。従来、各教科で取り扱われていた内容を科学の時間に移行することとしており、各教科の時間にかえて行うものであり、授業時間数は変わらないので、児童・生徒の負担になるものではない。受験科目の中の試験問題は、常にそうした時代の要請と対応に応じて変化していくものである。

Q 3月議会に滑川市音楽協会より、市民ホール早期建設の請願が出され、議員全員が賛成で採択された。これらの大きな重みをどう理解し

ているか。計画が動き出すのは基金10億円という用途の根拠が不明である。我々の視察によれば、規模と既存施設との複合化を図れば早期の計画推進が可能となる。座席数300〜400と仮定すれば、スポーツ・健康の森公園内に建設すると、サン・アビリティーズ、産業研修センターの改修と複合化して図られるのではないかと。

A 上田市長 音楽協会からの請願は議会全員で採択されたこと、もちろん重く受け止めている。当然のことである。基金が10億円になった時点で考えてみようとして申し上げた。10億円にはあと3年かかる。現在ある西コミ、早月中学校、新川文化ホールの利用、大ホールの改修はそんなにたっていない。サン・アビリティーズは目的がある建物、機能そのものを検証しなれば。皆さんとともに視察研修も含めて一緒になってこの建設に進みたい。少し時間をもらいたい。

その他の質問
・ほたるいか海上観光と富山湾岸クルージングについて
・中滑川駅前・滑川駅前市営住宅跡地の活用について

代表質問



(会派〓自民クラブ) 高木 悦子 議員

- 1 人口減少時代を正しく理解した政策になっているか
- 2 滑川市の公共施設の将来構想について
- 3 タラソピアの経営状況について

Q 今年から滑川市の合計特殊出生率が2.07になり移動による社会増減が無ければ、滑川市の現在の人口3万3千人を維持できるか。

試算をしているが、将来にわたって約束できる確実性はあるか。

A 杉田総務部長 子どもを産む世代の女性の人口が減少しているため、合計特殊出生率が2.07になっても人口は維持されない。

A 杉田総務部長 長期間の試算で厳密な試算を行うのは極めて困難で、絵に描いた餅になる可能性もある。現実ということはない。

Q 滑川市の合計特殊出生率は？

Q 滑川蒲鉾跡地がなかったら、自治体行政に支障をきたすことは無い。

A 杉田総務部長 27年度は1.54。

Q 滑川蒲鉾跡地がなかったら、市民生活が不便になるか。

A 杉田総務部長 国に依存した行政運営は難しくなると推察できる。

Q かつては5万人を超えたタラソピアの利用者は平成27年度約半分。滑川市の管理委託費という赤字補填額は5千215万円余り。経営状態が著しく悪化した状態でないか。

Q 高学歴の女性の製造業就職率が低い統計がある。進学で県外に出た女性が就職で滑川市に帰ってきていない。女性が働きたいと思う企業誘致について考え方はどうか。

A 石川副市長 経費の節減等努めてきたが、厳しい経営環境にある。

A 確井産業民生部長 女性に魅力ある企業誘致に努めたい。製造業の女性の就業は少ないと考える。

Q 1年間経営改革に取り組んで平成28年度の利用者は増えたのか。

A 確井産業民生部長 女性に魅力ある企業誘致に努めたい。製造業の女性の就業は少ないと考える。

A 石川副市長 平成28年度の利用者2万1千750人で、5千41人減少した。料金収入は212万円減となった。

Q 公共施設等総合管理計画でインフラ等の更新費用は今後40年間の年平均35億余り。更新周期を1.5倍に延ばしたら半額程度と機械的な

Q 維持すべき施設ではないと思う。

A 石川副市長 管理計画で3年を目途にもう一回方針を検討する。

Q 維持すべき施設ではないと思う。

A 石川副市長 管理計画で3年を目途にもう一回方針を検討する。

Q 維持すべき施設ではないと思う。

代表質問



(会派) 日本共産党議員団 古沢利之議員

- 1 国民健康保険と医療について
- 2 奨学金返還への助成について

Q 国民健康保険財政の運営主体が来年度から県へ移行する。何が変わるのか住民には知らされていない。どう認識しているか。

A 碓井産業民生部長 国民健康保険の県域化は現在、運営方針などを、県国保運営方針等連携会議などで協議しており、確定次第市民に周知したい。

Q 保険税はどのように決まるのか。具体的に见えていない。

A 碓井産業民生部長 県が市町村ごとの被保険者数や医療費水準などをもとに算定する。11月ごろに仮係数により算定し、市町村に通知される。

Q 改革の中に「保険者努力支援制度」がある。医療費の削減や保険税の収納率向上の成果を市町村間で競わせることにならないか。

A 碓井産業民生部長 国保税の収納率や各種健診の受診率等の評価指標の点数と加入者数により市町村に交付金が交付される。頑張ったところにそれなりことがされるところになっている。市町村が徴収機関だけになっては困るので独自の事業も積極的に行う。

Q 市の国保における医療費は県平均よりも高い。どう見ているか。

A 碓井産業民生部長 要因としてはより医療が必要な高齢加入者の割合が上がったこと、生活習慣病関連疾病の増加など、疾病構造の変化によるとみている。各種健診の受診率向上に努めている。

Q 国保では子どもが生まれれば、均等割分が加算される。子育て世帯に軽減制度を検討すべきだ。

A 碓井産業民生部長 国保は1人1人が被保険者で、均等割は年齢に関係なく課税される。保険税の軽減は低所得者のために実施している。

Q 県内自治体でUターンなどを条件に、自治体の奨学金返還に助成するところが増えている。検討してはどうか。

A 膳亀教育委員会事務局長 地元へのUターンなどを条件にした返還の助成は、効果について他市町村の状況を見て可否を検討したい。
Q 立山町などでは、日本学生支援機構などの奨学金にも支援している。検討すべきだ。

A 膳亀教育委員会事務局長 こうした制度についても効果があるか、他市町村の状況を見て考えたい。

一般質問



- 1 滑川漁港周辺の活性化について
- 2 連携中枢都市圏構想について
- 3 滑川市の働き方改革について

水野達夫議員

Q 滑川漁港周辺の一体的な再生整備計画策定に向けた現在の取り組み状況はどうか。併せてビジョンは何か。

A 長崎商工水産課主幹 漁業関係者並びに漁港周辺の水産研究所等の関連施設のご意見も踏まえながら検討することとしているが、まだ聞いていない。また、ビジョンについては、産業と観光の融合が理想的であると考えている。

Q 滑川蒲鉾の土地等購入費4千100万円は適正な価格なのか。

A 石川海洋資源振興課長 備品購入を含めて4千800万円、土地については2千300万円、建物については1千800万円であり、いずれも税務課の評価額から算定しており、適正なものと考えている。

Q 新たな地域ブランドとして、「高志の紅ガニ」を大々的にPRし、「春のホタルイカ、秋の紅ズワイガニ」を滑川の2大ブランドとして発信すべきではないか。

A 長崎商工水産課主幹 県内でも紅ズワイガニの漁獲量が、減少傾向にある中で、比較的漁獲量が安定している滑川産紅ズワイガニについても独自のPRを考えている。

Q 連携中枢都市圏構想について、富山市からの要請がいつどのようなものか。

A 岡野企画政策課長 今年の3月23日に富山市の企画調整課長ら3名が来庁され、構想についての説明と都市圏形成に向けた協議への参加要請を受けている。

Q 平成30年度からの連携となれば、どういった市民サービスの連携を考えているのか。

A 岡野企画政策課長 現在、協議中であり、まだ具体的な事業名を示すことができない段階にはない。

Q 職員の超過勤務や代休消化に関しての実態把握はされているのか。

A 下野総務課長 平成28年からは、職員の健康保持に重点を置き、これまで以上に超過勤務の縮減に努めてきたところだが、計画通りに振替休日を取得できない部署も一部見受けられたので、速やかに是正を図りたい。

Q フレックスタイム導入や育児・介護のための時差出勤等、柔軟な働き方改革を検討してはどうか。

A 下野総務課長 メリット・デメリットを検証し、他市の状況等も注視しながら検討してまいりたい。

一般質問



1 子育てについて
2 子どもの貧困対策について
3 安全・安心について
4 観光について

尾崎 照雄 議員

Q 発達障害児等への支援は健康センターの支援があるが、入学後も支援をしていくべきと考えた時、今の子ども課をさらに発展、充実させていく必要があると考えるが。

A 伊東教育長 健康センターで把握した事例を学校教育で引き継いでいくことは、個別の教育支援計画というものがあるが、それをしっかりと今以上に幼稚園、保育園に入る前からスタートして、幼稚園、保育園で、さらにはそれを学校教育で順々に引き継いでいくという体制をとることが最も肝心なことである。それを今しっかりと進めている。

Q 子どもの貧困対策として、内容によっては教育委員会が担当であったり、時には福祉が担当ということがある。縦割りの弊害をなくするという観点から子どもの貧困に関しては、教育と福祉の連携を図るために連絡調整機関をつくってはどうか。

A 石川子ども課長 子どもの発達・成長段階に応じた切れ目のない支援を行うため、教育や福祉といった関係部署及び関係機関で連携して、子育て世代包括支援センター

で行っていききたい。

Q 胃がん発生の因子であるピロリ菌を早期に取り除くことが、胃がん撲滅、リスクの低減に大きく前進すると考える。そのためにも、感染者を速やかに除菌治療へとつなげていくことが最も大事である。中学校の健康診断時におけるピロリ菌の検査導入が必要であると考えるが、見解は。

A 石倉学務課長 県外では、中学生を対象にピロリ菌の検査、除菌に取り組む自治体もあると聞いている。ピロリ菌の除菌については、中学生への除菌による胃がん減少の効果、また症状が出ていない段階での除菌による副作用、そういった報告等、慎重に実施状況等を把握していきたい。

Q 総合戦略の「訪れてみたくなるまちづくり」の目標の具体的施策に「わかりやすい観光案内」が掲げられている。2020年には東京オリンピックが開催される。観光案内板の見直しについて伺う。

A 網谷観光課長 東京オリンピックに向けて、滑川市を世界にPRしていくための設備投資をしたい。

一般質問



1 介護について
2 交通安全について
3 コミュニティバスについて

角川 真人 議員

Q 介護予防・日常生活支援総合事業が滑川市でも4月1日から開始された。これまで介護保険で受けられた通所・訪問等のサービスが地域支援事業へ移行したわけだが、今の利用状況はどうか。

A 澤口福祉介護課長 これまでのサービスに準じたサービスを提供する、介護予防訪問型サービスは4月36人、5月35人。介護予防通所型サービスは4月140人、5月139人。人員基準等を緩和したサービスの訪問型サービスAは、1事業者を指定して4月2人、5月5人。通所型サービスAは、2事業者で4月18人、5月21人である。

Q 市役所からすぐの寺家踏切の交差点は、日中は車の絶えない所だが、一時停止であまり止まってないように見受けられる。この踏切は小学生や郵便局に行く人が日中に利用する。歩行者の安全への取り組みはどうか。

A 黒川生活環境課長 寺家踏切付近は、終日車の交通量が多く、朝夕は寺家小学校児童や中高生の通行も多い場所である。この場所では児童・生徒の交通安全のため、交

通指導員等のボランティアによる見守りが行われている。また滑川警察署、県警本部においても、随時交通指導取り締まりを行っている。

Q 歩行者信号は付けられないか。
A 黒川生活環境課長 踏切等もあるため設置はうまくいかない場所かと思う。

Q あいの風とやま鉄道は、朝の混雑の対策として、朝の7時台の便を1本増やしたようだが、バスの時間を合わせることはできないか。

A 黒川生活環境課長 運行体系全体の見直しや現在の時刻での利用者への影響を考慮し、今後市民からの要望が多くあれば来年度以降検討したい。

Q 滑川市のコミュニティバスの事業評価では1便当たり多くて9人の利用、29人乗りのバスは必要ないのではないか。

A 黒川生活環境課長 路線別、便別で見ると、これ以上乗っているところもある。小型バス導入についても、どこへ導入するか現況整理の中で検討していく。

一般質問



- 1 観光振興について
- 2 子ども達の学力向上について
- 3 子ども達の安全・安心について

竹原 正 人 議員

Q本市唯一の観光資源であるほたるいか海上観光の観光船の運航を民間共同ほたるいか海上観光実行委員会を立ち上げ、本年限りの緊急の措置として例年より短い期間で実施できたが、一度中止を宣言した経緯もあり、市民、観光客、関係業者に対しての信頼回復について市としてどう取り組むのか。

A網谷観光課長 一日も早く問題解決するために一番の問題である船舶検査証の返還を求めあらゆる手段を検討している。解決した際には、いち早く市民の皆様に周知し、あらゆる機会を捉えて説明し信頼回復に努める。

Q土曜授業について、普通授業の土曜授業と自由参加の土曜学習の違いを保護者へ周知しているのか。

A石倉学務課長 市内小中学生保護者には、土曜授業の実施目的を保護者宛て資料でお知らせしている。校長へはPTA役員会、PTA総会等の機会を捉え説明するよう伝え皆様に周知している。

Q市内小中学校における今年度の補充学習、夏休みの間の学習時間の確保についての取り組みは。

A石倉学務課長 各学校の実情に

応じて、特色ある学校づくり推進事業等を活用して外部講師や地域の教育力を生かして指導していただいている。学校によって夏休み中に数回から、多い学校で10回程度実施する予定となっている。

Q子ども達の通学路、学校敷地の危険個所の把握と事故防止の対応は。

A石倉学務課長 学校敷地内の危険箇所については学校と連絡を取り合いながら把握に努め順次対応している。通学路については、学校、地区、保護者の要望を受け関係各課で対応してきたところであるが、引き続き通学路の安全確保に努めていきたい。

Q学校行事等のたびに学校敷地内の駐車場がいっぱいになり路上駐車が当たり前になっている。駐車場不足の認識についてどう考えているのか。

A上田市長 西部小学校、早月中学校、東部小学校これら3校について順次3年の間に一力所ずつやる、場合によっては二力所やる。約束する。

その他の質問
・農業振興について

一般質問



- 1 ほたるいか海上観光中止について
- 2 有害鳥獣被害防止対策について
- 3 火災発生時の確認、周知について
- 4 道路等インフラ整備について

浦田 竹 昭 議員

Q今年度、ほたるいか海上観光が中止になった経緯と具体的な本当の理由の説明を求める。

A網谷観光課長 契約金額や運航条件等について市と運航会社の意見の相違があり、調整が整わず、信頼関係が損なわれた。

Qキラリンの運航契約等の経緯と現状について説明を求める。

A網谷観光課長 運航業務委託は満了しており以後の更新はしていない。船舶の貸付契約は解除した。それに伴い船舶の運航に必要な書類等の返還を求めており、法的に瑕疵は無い。

Q鳥獣被害対策実施隊の組織体制並びに具体的な活動状況について説明を求める。

A藤名農林課長 猟友会員から12名と市職員5名から構成され、有害鳥獣の追い払いや捕獲を行っている。

Q一般の狩猟免許受験の推奨と市職員の有資格者の拡大について説明を求める。

A藤名農林課長 狩猟免許取得助成制度を活用し、人材の確保に努め、市職員では今年度2名がわな免許の取得を目指している。

Q火災発生時のサイレン・吹鳴について説明を求める。

A元起消防署長 現在、遠隔操作での吹鳴はできなく、今後防災無線のデジタル化に合わせて市内全域一斉の吹鳴を検討している。

Q東福寺野自然公園とみのわ温泉テニスコートを結ぶ道路整備について見解を求める。

A岩城建設課長 周遊道路として安全に通行するには、大規模な道路改良、多額の費用が必要となり、現時点では遊歩道としての活用が適当であると考えている。

Q本江地内スーパー農道から小森地内へ抜ける道路の市道・県道認定と拡幅改良について見解を求める。

A岩城建設課長 市道本江栗山線から小森付近の県道黒川滑川線までの延長約1・1キロメートルの農道について、市道認定は難しいと考えているが、本江地内を通る県道黒川滑川線について、道路幅員が狭く危険であることや、人家が連櫓しており、現道の拡幅が難しいことから、農道を県道のバイパス機能として整備できないか県に働きかけていきたい。

一般質問



- 1 姉妹都市シャンバーグ市との国際交流事業について
 - 2 急速冷凍によるホタルイカのブランド化について
 - 3 空き家のアンケート調査と空き家の有効活用について
- 谷川 伸 治 議員

Q シャンバーグ市への派遣事業について、中学生20名の募集に対して応募者は何名だったのか、また、どのように選考して決定したのか。

A 地崎生涯学習課長 28名の応募があり、学校長の推薦と、書類、作文により派遣団員を選考した。

Q 両中学校の参加人数・学年別人数は。

A 地崎生涯学習課長 滑川中学校では1年生2名、2年生5名、3年生5名の計12名、早月中学校では2年生2名、3年生6名の計8名である。

Q ホタルイカ漁のシーズン中に、生とボイルしたホタルイカを約1.6トン凍結したが、予定していた3トンの目標をなぜ達成できなかったのか。

A 網谷観光課長 プロトン凍結では、1回で30キロを処理可能としていたが、トレーが重なった状態の場合、冷凍庫内の場所の違いで均一に冷凍できない。試行錯誤し1時間当たり15キロ程度の量が一番最適と判断して適用したことと、

日々の漁獲量は変化し、予定した量を確保できないことも一つの要因と考えている。

Q ホタルイカ1.6トンを凍結するのに幾らの経費がかかったのか。

A 網谷観光課長 ホタルイカの仕入れ代約90万円、人件費相当分20万円、プロトン冷凍機と保管用冷凍庫の電気料3万円、その他消耗品約8万円、水産加工業者の委託代約10万円で約131万円を予定。

Q 空き家のアンケート調査の結果「空き家を売却、または賃貸しない」の回答が、65%で66件。空き家の今後の管理・活用について、売却したいが適当な相手が見つからないとの回答が31%。今回の結果よりどう取り組むか。

A 児島まちづくり課長 活用できる空き家も多く存在しており、放置される前に市場流通することが空き家対策に最も効果的と考えている。所有者の空き家に対する意識も高いので、空き家・空き地バンクへの登録の促進に努める。

一般質問



- 1 農業の振興について
 - 2 人口減少対策と子育て支援政策について
 - 3 行田公園の管理計画について
- 原 明 議員

Q 富山米新品種、「富富富」の滑川市での試験栽培の状況は。

A 藤名農林課長 富山米新品種「富富」については富山米のブランド力を強化するため開発された新品種であり、特性を活かした栽培技術の確立に向けた実証栽培、栽培マニュアルが作成されるとの事であり滑川市では荒俣地内において実証栽培が実施されており、順調に生育している。

Q 減反が廃止され米の供給増加による価格の低下も心配される。農業再生協議会が、国が配分してきた生産数量目標にかわる目安を設定する方針で協議されているが、生産者への周知と対応は。

A 藤名農林課長 平成30年以降も県レベルの国の生産目標が提示される予定であり、地域農業再生協議会で生産目標の方針が決まり次第、生産者に速やかに周知を図って行きたいと考えている。

Q 市長は、子供第一主義ということで、医療費の無料化、第2子保育料の無料化など子育て支援政策を進めているが、年少人口の増減や政策の効果はどのような状況と

なっているか。

A 石川子ども課長 平成28年10月1日現在の年少人口は、4千225人で、平成27年10月1日現在の4千341人から116人減少している。第2子保育料無料化の効果が出るのはこれからだと考えている。

Q 行田公園は、自然をそのまま残している大きな公園である。次年度の予算に管理費をつけてもらい、誰もが自然に親しめる公園にしてもらいたい。

A 上田滑川市長 行田公園は、県の河川、県の河川とって逃げてはいけけない。行田公園の管理については、管理主体の県は県として、利用する市民、滑川市としてある程度の手を加えなければいけないと思っている。柳原公民館後ろの中川放水路は、中川の連合会、地元の人たちが手を加えて守っている。環境を自分たちで作っていくような流れが行田公園の中に出てくるような手法を考えてみたい。市からは、監視する担当スタッフを決め管理にあたりたい。その他の質問
・富山湾岸クルージングについて

一般質問



青山 幸生 議員

- 1 過去の質問について 再度問う
- 2 平成30年度重点事業に関する要望一覧について
- 3 子供第一主義の徹底について

Q 臨時雇用者の有給消化率は。

A 下野総務課長 各課の臨時職員の有給休暇の消化率を総務課が把握できるような改善を行い、平成28年度について消化率を集計した結果、約17%だった。

Q 「来年雇用があるのか全くわからない」という不安する声がある。嘱託職員・臨時職員との雇用契約の予算可決を停止条件とした雇用契約書を締結できないか。

A 下野総務課長 嘱託職員については辞令なので期限を切つてなどは厳しい。臨時職員の雇用契約については、盛り込むことは可能だ。

Q 3月定例会では、観光の黒字化に向けて競争戦略とマーケティングについて提案し、また各課から提案を受けてほしいという質問をした。一からやり直すべき提案だったことを重く受け止めて、しっかりと頑張りたいとの答弁であったが、実際に提案はあったか。

A 網谷商工水産課長 現在のところ市職員からの提案は受けていない。

Q これはやる気の問題だと思うが。

A 網谷商工水産課長 予算要求が11月から始まるので、当然、その前

までには提案が整うような形になるように頑張りたい。

Q 魚に関する学習環境の整備について、具体的にどのような取り組みか。

A 長崎商工水産課主幹 水産研究所においては、園児から小学生までが遠足などで学習できる学習棟の整備を。滑川栽培漁業センターでは、本県のつくり育てる漁業を学ぶため、ヒラメやアワビの種苗生産の様子を見学できるような体制整備について県に要望している。

Q 現在、滑川市の幼稚園及び保育園の待機児童はいるか。また今後の見通しは。

A 石川子ども課長 待機児童はいない。今後も待機児童は発生しないと見込んでいる。

Q 各園のばらつきはないか。

A 石川子ども課長 各園のばらつきは多少あり、ばらつきのある園に関しては、定員を超えて利用できない方が数名いる場合もあり、その場合は第2希望、第3希望の園の園へ入園している状況だ。

その他の質問

・粗大ごみの回収について

一般質問



高橋 久光 議員

- 1 公共施設について伺う
- 2 子どもたちの安全・安心について
- 3 観光船キラリンについて

Q 公共施設に関して、本市の各施設がバランスよく整備されているか。

A 石坂財政課長 本市の施設は、庁舎をはじめ、小中学校、子育て支援施設、スポーツ施設、各種公園、インフラ施設、市民交流プラザや市民会館大ホールなど、機能ごとに必要な施設を整備し、バランスよく有していると考えている。

Q 公共施設等のあり方について改善、廃止等についての検討も提言している。限りある財源の中で各種団体等で協議や意見聴取をされて整備されているか。

A 石坂財政課長 それぞれ所管施設を中心として、時代に合った、住民要望に応えるための施設計画を立て、庁内全体で協議し整備してきている。なかなか一度にと

いうのは難しい面もあり、限りある財源の中で必要な施設整備、維持管理面に対応していきたいと思っている。

Q 東福寺野自然公園の整備計画について近々どうするのか。

A 地崎生涯学習課長 滑川市公共施設等総合管理計画を策定し、今後

の整備計画を決定したい。
Q 本市の公共施設は年間どれだけの管理費がかかっているか。

A 石坂財政課長 本市が所有する主な建物71の施設、平成27年度の実績で、概算で10億円である。

Q 5年後、10年後にはどの程度増えるのか、増えないのか。

A 石坂財政課長 総額として毎年10・5億円ほど必要と見ている。

Q 通学路や公園、学校に危険箇所がないか、見回りはどこまでされているか。

A 石坂財政課長 学校敷地内は学校と連絡を取り合いながら、通学路は、学校、地区、保護者の要望を受け、関係各課において対応してきた。

Q 観光船キラリンが昨年夏から一年近くもとまっている。運航不能ということになると、県の補助金や滑川市の多額の税金を投資しての船であり、税の無駄使いと言わざるを得ないのではないか。

A 上田市長 船の運航会社と漁協の関係である。漁港の中の問題は漁協が管理している。

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネル(アナログは8チャンネル)で、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、6月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

一般質問



1 2 3 4

海洋深層水の利活用について
指定文化財・登録文化財について
働き方改革について
観光について

中川 勲 議員

Q 海洋深層水利用の調査・研究費として535万円が計上され、東京大学農学生命研究科に委託されたが進んでいるのか。

A 石川海洋資源振興課長 東京大学倉橋みどり博士をはじめ、各種研究機関と連携し、漁業、農業利用発電に至るまで、多彩な分野での調査研究を進め、8月から取り組む予定としている。

Q 国登録有形文化財に、富山県では7カ所12件、そのうち滑川市で5カ所10件が選ばれた。このことにより、滑川市では、10カ所19件の歴史的建造物となった。今後どのように保存と活用されるのか。

A 地崎生涯学習課長 登録文化財は文化財所有者やNPO法人が適切に保存されるよう相談に応じるとともに、補助制度や技術的処置方法の情報提供等支援をする。又、NPO法人滑川宿まちなみ保存と活用の会によるイベントの実施、観光ボランティアの活用や、「米騒動100年展」プレイベント等の実施を通じて活用に努めていく。

Q 政府は、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進策など、働き方改革について発信している。

これから市としてもイベントが多くなる中、職員の皆さんは、ボランティアなのか時間外なのか。

A 下野総務課長 基本的に所管の事業については振りかえ、他の部署から応援している職員は手当を支給する対応としている。

Q 教職員の残業時間の減少と対策はされているのか。土曜授業で大変だと聞くが対応されているか。

A 石倉学務課長 残業時間削減の対策として、管理職は早目の退校を呼びかけ、校務分掌を見直し、特定の教職員に分掌が集中しないよう、水曜日はリフレッシュデーとし、残業しないで早く帰る運動もしている。土曜授業については必ず振りかえとしている。

Q 富山湾の夕日・夕焼けに染まった立山連峰はすばらしい。1カ所で両方見られる場所を市民に公募し展示所あるいは聖地にすればどうか。

A 網谷商工水産課長 交流プラザの展望台、海浜公園などからも両方見える場所がある。市民から意見を伺いながら、観光協会、市ホームページなどで積極的な紹介に努める。

一般質問



1 2 3

保険医療について
地域交通について
急速冷凍機の活用について

開田 晃江 議員

Q 3月議会で「医療機関と連携した糖尿病対策の体制づくりを整備し重症化予防に努めていく。」とあるが新年度になり具体的にどのように進めているか。

A 結城市民健康センター所長 滑川市における糖尿病性腎症重症化予防ネットワーク推進事業に取り組みでおり、具体的には、毎日食事療法を中心とした糖尿病健康相談日を設け、うち年4回は夕方からのイブニング相談も行っている。

Q 糖尿病性腎症重症化予防プログラムは作成してあるか。

A 結城市民健康センター所長 県は今年3月にこのプログラムを策定した。内容は、未治療者、治療中断者を医療に結びつけることを目的に作成されている。市としては、重症化予防対策の視点を強化した内容を盛り込み改訂していく。

Q 滑川市地域公共交通網形成計画を策定するとあるが、何年程か、長期的計画を知らせてもらいたい。

A 黒川生活環境課長 平成30年度から平成34年までの5年間としている。

Q どのようなところから進めるか。

A 黒川生活環境課長 まずコミュニティ

ティバスの利用状況を分析し、また、市民約2千人を対象としたアンケート調査を実施する、その中から、コミュニティバスの課題や市民ニーズを把握し、策定に反映させたい。

Q 冷凍保存作業は誰がどのように行っているか。

A 網谷観光課長 観光課の職員2名が食品衛生の資格を取り、作業にあたっている。

Q シーズンが終了したが、協議会は開催されているか。

A 網谷観光課長 至急、開催し、少しでもブランド化の進展につなげたい。

Q 市内のレストランや料理旅館でホタルイカ料理の有料試食会を行っているかどうか。

A 網谷観光課長 貴重な提言で、今後、協議会の中で前向きに検討していく。

Q 今後、冷凍保存のホタルイカをどのようにに活用し、ブランド化していくか、全国に向けた販路は。

A 網谷観光課長 将来的には東京のアンテナショップやネットショップも視野に入れた展開も可能な事業になると考えている。

総務文教委員会行政視察

(5月10～12日)

◆三重県亀山市(切れ目のない子育て支援、発達障害児への支援)

◎亀山市では「子ども総合センター」を市長部局の健康福祉部内に設置したが、その際教育系の職員を多く配置し、福祉と教育のバランスを取っている。また、実際の業務を行う「子ども支援室」には専門職を数多く配置し、手厚い相談体制を取っている。

◆長野県上伊那郡宮田村(屋内運動場の建設・運営)

◎平成5年にふるさと特別対策事業の一環として整備。その後フィールドを人工芝へと変更し、現在は主に村内のフットサルリーグが使用している。

◆長野県駒ヶ根市(発達障害児への支援)

◎「5歳児検診」を実施し、就学前児童の問題の早期把握に努めるとともに「子どもカルテ」を作成し、保護者との意識の共有と関係部署との情報の共有に努めている。

◆長野県塩尻市(市民交流センターの建設・運営)

◎自発的に構想・設計・運営について協議する市民会議「市民交流センター創造会議」を設置する等、市民が相当の関わりを持って事業を推進している。



民生環境委員会行政視察

(4月24～26日)

◆群馬県前橋市(デマンド交通について)

◎市内の民間の路線バスの廃止を機に、有識者等による「全市域デマンド化研究会」にて協議を行い、約200力所のバス停を設置し、乗り合いバスの運行を開始した。75歳以上の方や、運転免許証を返納した方などの特定の条件を満たす市民に対し、タクシー運賃の一部補助する制度も導入し、積極的な移動困難者対策を行っている。

◆埼玉県ときがわ町(路線バスについて(ハブ&スポークス方式の概要))

◎合併前の旧村のバス路線と民間路線が重複するなどの非効率的な運行だったため、埼玉大学の協力のもとにバス路線の再編に取り組んだ。町の中央部にハブのバス停である、「せせらぎバスセンター」を整備し、各方

面からバスが到着し、目的地に向かうバスに乗り換え、再び各方面に向けて一斉に発車する同時集散方式を採用し、最少の車両数で最大の運行本数を実現した。

◆栃木県足利市(生活路線バス再編への取り組みについて)

◎路線バスの利用者が年々減少傾向にあったため、足利市地域公共交通総合連携計画を定め、利用者への各種アンケート調査の実施やバスの実証運行を行った。大幅な再編後も適宜見直しを進めており、再編前に比べて年間利用者数は1.8倍になった。

◆埼玉県さいたま市(さいたま桜環境センターの概要について)

◎桜環境センターは、設計・建設・維持管理運営を一体で行い、民間の技術的知識やノウハウを効率よく活用できるDBO方式を採用し、平成27年4月に供用を開始した。



産業建設委員会行政視察

(4月17～19日)

◆山口県下関市(有害鳥獣対策)

◎下関市では野生獣による被害が、大きな問題となっており、捕獲した有

害鳥獣を有効活用するため、ジビエの処理、加工を行うジビエセンターを設立した。捕獲者へはジビエセンターから対価が払われており、捕獲の意欲へとつながっている。

◆熊本県山鹿市(市街地活性化事業)

◎山鹿市民の憩いの場として親しまれていた「さくら湯」を国の事業を活用し、中心部の商業ビルの再生、立体駐車場の整備に合わせ、市の再開発事業により再生させ、新たなシンボルとした。

◆熊本県玉名市(6次産業の推進について)

◎玉名市では野菜、果実の栽培が盛んであるが、農林水産業者の所得向上、消費者のニーズ把握、地域の活性化を目指し6次産業の推進を図っている。推進にあたって、玉名市6次産業活性化委員会を設置し、生産者向けに各種支援を行っている。

◆福岡県糸島市(空き家対策について)

◎糸島市は3年連続で人口が減少しており、若い世代にターゲットを絞り、転出抑制と転入促進の施策に取り組むとともに、積極的に空き家を活用することとした。空き家を実際に生活を体験する事業、空き家相談会・地域コーディネート・インターの設置等を行っている。



議 決 結 果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第29号	平成29年度滑川市一般会計補正予算（第1号）	総民産	修正案可決
議案第30号	平成29年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	民	原案可決
議案第31号	滑川市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第32号	滑川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第33号	滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	民	原案可決
議案第34号	滑川市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	民	原案可決
議案第35号	滑川市道路に設ける案内標識等の寸法を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第36号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて	総民	原案承認
議案第37号	滑川市農業委員会委員の少なくとも4分の1を認定農業者等又はこれらに準ずる者とするに同意について	産	原案同意
議案第38号	滑川市監査委員の選任について		原案同意
議案第39号～議案第46号	滑川市農業委員会委員の任命について		原案同意
議員提出議案第3号	精神障がい者に対する交通運賃割引制度の適用を求める意見書		原案可決
議員提出議案第4号	受動喫煙防止対策の強化に関する意見書		原案可決

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。
※委員会…総：総務文教委員会、民：民生環境委員会、産：産業建設委員会

賛 否 一 覧 表

会 派 議員名 議 案	会 派 自 民					自民クラブ			共産党 議員団		無 会 派				
	原	岩	中	中	高	谷	高	浦	角	古	青	尾	竹	水	開
	明	城	島	川	橋	川	木	田	川	沢	山	崎	原	野	田
	晶	勲	勲	久	光	伸	悦	竹	真	利	幸	照	正	達	晃
	巳	※	※	光	治	子	昭	人	之	生	雄	人	夫	江	
議員提出議案第2号	○	○	/	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○

受動喫煙防止対策の強化に関する意見書（要旨：飲食・宿泊業等のサービス業を営む事業者への措置について、十分に配慮したものとする。効果的とされている分煙措置をとっている店舗・施設については、相当の配慮をすること。喫煙者と非喫煙者が共存できる社会を目指し、分煙環境の整備を推進すること。）

※賛成者は○、反対者は●としています。※議長は採決に加わらないため「/」としています。
全員賛成以外の議案についてのみ掲載しています。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆様のご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。
電話 4 7 5 - 2 1 1 1 （内線 3 7 1）

【議会報編集委員】

谷川伸治委員長
青山幸生委員
開田晃江委員
原 明副委員長
角川真人委員
中川 勲委員

9月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘 要
9 月 4 日 (月)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
11 日 (月)	10時	代表、一般質問
12 日 (火)	10時	一般質問
13 日 (水)	10時	総務文教委員会
14 日 (木)	10時	民生環境委員会
15 日 (金)	10時	産業建設委員会
19 日 (火)～25 日 (月)	10時	決算特別委員会
27 日 (水)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決